

施策評価管理シート

2019(令和元)年6月作成

| | | | | | |
|------|------|---|---------------------|----------|------|
| 施策体系 | 政策 | 2 | 美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち | 担当部局(室)名 | 部局長名 |
| | 基本施策 | 2 | 環境負荷の少ない社会の創造 | | |
| | 施策 | 1 | 低炭素社会 | | |

1. 計画策定当初(H28)の状況と課題

Plan

○ 市民の省資源・省エネルギーへの関心は高いものの、気候変動に伴う近年の猛暑等に対応するため、エアコンをはじめ冷暖房設備の使用が避けられない状況です。
 ○ モータリゼーションの進行により、自動車による移動が基本となっているなか、さらに自動車交通への依存が進み環境負荷が増大するおそれがあります。
 ○ 環境への理解を深め、できる省エネ行動を実践するとともに、エネルギー政策の基本的行動指針である「スマートシティなばりエネルギーアクションプラン」に基づき再生可能エネルギーの導入を進め、人と自然とエネルギーの調和するまちを目指します。

2. 施策の基本方針

Plan

○ 人間の社会経済活動が地球温暖化に影響をもたらしています。市民の環境問題についての理解を深め、市民・事業者・行政がそれぞれの立場で省資源・省エネルギーに取り組むとともに、相互に連携・協働して低炭素社会の構築を目指します。

○ 施策指標(目標)及び達成状況

Plan **D**o

| 施策指標(目標)の内容 (単位) | | 現状値(H26) | 2016(H28) | 2017(H29) | 2018(H30) | 達成率 |
|---|----|----------|-----------|-----------|-----------|-------|
| 日常生活で省資源・省エネルギーを心がけている市民の割合 (%) | 目標 | - | - | - | 90.0 | 0.0% |
| | 成果 | 87.4 | 85.6 | 86.4 | 86.5 | |
| 環境マネジメントシステム導入事業所数 (事業所) | 目標 | - | - | - | 20 | 0.0% |
| | 成果 | 18 | 18 | 17 | 17 | |
| 市の事務事業にかかる二酸化炭素排出量 (t-CO ₂) | 目標 | - | - | - | 12,277 | 79.9% |
| | 成果 | 12,789 | 12,559 | 12,380 | 12,380 | |

3. 課題解決への取組内容及び成果(平成28年度~30年度)

Plan **D**o

・平成30年度に「第三次なばり快適環境プラン」を策定しました。
 ・省資源・省エネルギー行動を推進するため、エコ通勤デー及びエコノー残業デーライトダウンキャンペーンの取り組みを実施しました。
 ・毎年の「名張クリーン大作戦」「比奈知ダム見学会」「とれたて!なばり」等のイベントに加え、平成30年度は「比奈知ダム星空観測会」でも省資源・省エネルギーについての展示・啓発を行いました。
 ・環境新聞は「低炭素社会を考え実践する日」「エコ通勤」等を中心に3年間で10回の掲載を行い、職員への啓発を行いました。

4. 成果を踏まえた課題や現状

Check

・第三次なばり快適環境プランに基づき、地球温暖化対策、省資源・省エネルギーの取り組みを進め、市民や事業者への啓発を進める必要があります。
 ・エコ通勤デーについては、省資源・省エネルギーの面だけでなく職員の健康も考慮し、参加する職員への負担の軽減を考慮する必要があります。

5. 課題解決への取組内容(令和元年度)

Action

・第三次なばり快適環境プランに基づき、市が省資源・省エネルギー行動(エコ通勤デー、ノー残業デー・ライトダウンキャンペーン等)を積極的に実践し、市民や事業者に対して啓発を行います。
 ・エコ通勤デー地球温暖化対策だけでなく、職員の健康増進を図るためにも、運動に適した気候の秋季に実施することにより、実施率の更なる向上を目指します。

6. 行政評価委員会による総合評価

Check

市民・事業者・行政それぞれが省資源・省エネルギーの取組を積極的に行えるよう、気軽に手軽に取り組める方法の紹介など啓発を進めること。